

# V. 鉄道事故等の発生状況

## 1 鉄道運転事故・インシデント・輸送障害・電気事故の発生件数

### 【事故等報告(鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告)】

平成28(2016)年度の鉄道運転事故は2件でしたが、全てが第三者行為によるものです。また、輸送障害については6件発生しました。

(件数)

		平成28(2016)年度	平成27(2015)年度	平成26(2014)年度
鉄道 運 転 事 故	列車衝突事故	0	0	0
	列車脱線事故	0	0	0
	列車火災事故	0	0	0
	踏切障害事故	0	1(1)	0
	道路障害事故	0	0	0
	鉄道人身障害事故	2(2)	2(2)	0
	鉄道物損事故	0	0	0
合 計	2	3	0	
インシデント		0	0	1
輸送障害		6(4)	4(4)	4(3)
電気事故		0	0	1

注：( )数は、自然災害・第三者行為等による件数[内数]

## 2 インシデント・輸送障害の内訳

### 【インシデント報告(鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告)】

インシデントとは、「鉄道運転事故には至らなかったが、事故が発生するおそれがあると認められる事態」のことです。平成28(2016)年度にインシデントは発生していません。

### 【輸送障害の内訳】

輸送障害とは、鉄道による輸送に障害を生じた事態であって、鉄道運転事故(上述の列車衝突事故・列車脱線事故等7項目)以外のものをいいます。

(件数)

	平成28(2016)年度	平成27(2015)年度	平成26(2014)年度
鉄道係員が原因の場合	0	0	1
車両・施設等が原因の場合	2	0	0
鉄道外の場合(第三者行為、火災等)	4	4	2
自然災害の場合(風水害、地震等)	0	0	1
総件数	6	4	4

### 3 主な輸送障害の内容 [平成28(2016)年度実績]

#### 【輸送障害(信号保安装置故障)】

- 発生日時：平成28年6月20日(月) 18時35分頃
- 発生場所：神戸高速線高速神戸駅構内
- 発生事象：18時35分頃、神戸高速線高速神戸駅において、信号機が赤信号から変わらなくなったため、一部の列車の運転を見合わせました。なお、20時30分頃に信号機は復旧し、運転を再開しました。この間、約160本の列車に運休や遅れ等の影響がありました。
- 原因：レール絶縁部に鉄片が付着していたことにより、信号を現示する回路に不具合が生じたものです。
- 対策：駅構内に設置しているレール絶縁部全てについて点検、清掃を実施しました。また、線路巡回時にレール絶縁部の点検を強化しました。更に、復旧方法について実技訓練を実施しました。

#### 【輸送障害(信号保安装置故障)】

- 発生日時：平成29年2月11日(土) 6時56分頃
- 発生場所：本線梅田駅構内
- 発生事象：6時56分頃、本線梅田駅において、信号機が赤信号から変わらなくなったため、一部の列車の運転を見合わせました。なお、7時43分頃に信号機は復旧し、運転を再開しました。この間、約70本の列車に運休や遅れ等の影響がありました。
- 原因：レール絶縁部に鉄片が付着していたことにより、信号を現示する回路に不具合が生じたものです。
- 対策：駅構内に設置しているレール絶縁部全てについて点検、清掃を実施しました。また、線路巡回時にレール絶縁部の点検を強化しました。